

地方創生交付金事業 効果検証について

令和3年3月15日

令和2年度 地方創生推進交付金

事業名	スマートアグリ実証事業（平成30年度～令和2年度）
背景	川上村の農業 ・市場価格の変動 ・天候不良により収穫量が不安定 ・生産量に依存する構造 ・過酷な労働 ・実習生の雇用等 高コスト
目的	・計画的生産構造の実現 ・軽労働化 ・収益性の向上 ・持続可能な農業
施策	⇒IoT 機器の導入による実証事業 ①ドローンによる圃場センシング（20回） ②フィールドセンサーによる圃場データ採取（11圃場） ③アプリ等による作業記録
事業費（決算額）	7,399,997円 （財源：3,525,000円 地方創生推進交付金1/2）
KPI 重要業績評価指標	・生産量の適正化 140,309t（令和元年度：149,563t） ・生産額の向上 175億円（令和元年度：171億円）

別紙「令和2年度スマートアグリ実証報告書」参照

政策調整室